



## 職業奉仕を考える



## 職業奉仕を 行動の真正面に



John Kenny  
ジョン・ケニー  
2009-10 RI会長  
スコットランド・  
グランジマスRC

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

今日、世界には数多くの奉仕団体が存在します。しかし、ロータリーほど歴史が古く、成功しているものはほとんどありません。ロータリーがこれだけ長く続き、成功しているのには、たくさんの理由がありますが、その一つが職業奉仕です。私は皆さんに、四大奉仕部門の中でもとかく忘れられがちな職業奉仕を、今年度の特別な強調事項に置いていただきたいと願っています。

### 職業奉仕はロータリーを特徴づける

ビジネスや私生活における高い倫理面の基準は、ロータリーが誕生した1905年当時と同様、今でも大切なものです。事実、私たちの世界が現在直面している問題の多くは、ビジネス面でのこういった基準が守られているかどうかの確認を怠ったことによって引き起こされました。

ロータリーにおける職業奉仕とは、私たちが正直なビジネスと、疑い得ない倫理に献身的であり、それと同時に、自らの職業的な技能と人々を助けるという強みを使うことに献身的であることを意味します。このアイデアはとても単純です。しかし、ロータリーを特徴づける独自のものです。

### 一人ひとりがロータリーの顔

多くの奉仕団体は、参加したい人には誰にでも門戸を開いています。ロータリーはそうではありません。ロータリアンたちは、人柄、能力、それに、クラブに真に貢献する決意といった資質をもった人々だけを探し求めているのです。

私は長い間、ロータリーの基盤とは、倫理を伴った行動に身をささげることだと信じてきました。都合がいいことより、正しいことを優先する、そして「超私の奉仕」こそが、ロータリーをほかの団体とは異なる存在にしている

のです。そのようなわけで、何をするときにも、私たちの一人ひとりが世間に対するロータリーの顔であるということ、常に心にとどめておかなければなりません。私たちの一人ひとりが私たちの組織の旗手なのです。一人の会員の行動は、良かれ悪しかれ、私たち全員にはねかえってきます。

### 超私の奉仕に軸足を置く

私たちが組織として成し遂げてきた多くのことが、ロータリーやロータリアンに対する、世間の信頼につながります。それぞれの地域社会に私たちの存在を知ってもらい、同時に、私たちが善意と好意の人々であることが知られるようになったポリオ撲滅活動の成功によって、その信頼は大きいものとなってきました。

もし、私たちの組織が成長し繁栄する姿を見たいと思うなら、私たちは、自分たちの考え方や行動の真正面、あるいは中心に職業奉仕の思想をもっていなければなりません。私たちは技能をもち、決意が強い、品性を備えた男女を探し求めなければなりません。

私たちは、たとえ不都合なことであっても、正しいことをしなくてははいけません。そして、私たちはいつでも「超私の奉仕」に軸足を置いていなければならないのです。

John Kenny

2009-10年度 国際ロータリー会長

ハーバート J. テイラーが  
どのようにして不況を生き残り  
より良い世界を築いたかという物語

# 真実かどうか？

ポール・エンゲルマン

THE ROTARIAN 8月号から

## 言行はこれに照らしてから

これは、伝承の域を超え、ロータリーの組織の遺伝コードの域にまで達した、ほとんどのロータリアンによく知られた話です。

1932年、倒産寸前にあったシカゴの調理器具会社の社長に任命されたハーバート J. テイラーは、従業員のための倫理基準の必要性を感じ、小さな一枚の紙に4つの質問を書きました。

真実かどうか？

みんなに公平か？

好意と友情を深めるか？

みんなのためになるか どうか？

後に「四つのテスト」として知られる、この質問をテイラーがしたため、3年前の株価大暴落で銀行や企業に対する不信感が広まっていました。

新しいタイプの高価な調理器具を販売していたクラブ・アルミニウム社でしたが、販売員の強引な訪問販売のために、その売り上げは急速に落ちていました。テイラーは小売店を通じた流通チャンネルの構築や、無料で試せるようにする、購入しやすい支払いプランを提供するといった付加的な手段を取り入れましたが、会社の収益を黒字に回復させるためには、同社の広告と営業方法を自分の考えたテストに照らし

合わせる重要なカギだと信じるようになりました。

会社の方針としてこのテストを実施する前に、テイラーは、ローマカトリック信者、クリスチャンサイエンスの信者、正統派ユダヤ教信者、長老派教会員である4人の部長に相談し、宗教的、あるいは道徳的信条に反しないかを確認しました。

彼は、そのテストがビジネス以外にも役に立つと考えるようになり、自伝の中で、「自分の考えを述べる前や行動を起こす前に、このテストで自分の考え、言葉、行動を確認する人は、おおむね正しいことをしている人である」と書いています。



**THE FOUR WAY TEST**  
*of the things WE think, say or do*

- 1** Is it the Truth?
- 2** Is it fair to all concerned?
- 3** Will it build good will and better friendships?
- 4** Will it be beneficial to all concerned?

テイラーがロータリーの50周年を迎えるときに国際ロータリー(RI)会長(1954-55年度)として『Newsweek』の表紙を飾ってから54年の間、多くのクラブの会員が、例会で暗唱したり、プライベートであれ、仕事であれ、目標に取り組むときに当てはめることで「四つのテスト」はロータリーの仲間たちの前面に、そして、中心に位置づけられてきました。

新たな経済危機の真ただ中であり、企業の貪欲さやスキャンダルが目につく時代は、ロータリーの歴史の中で重要な人物の一人であるテイラーについてあらためて知るのにふさわしいときのように思われます。

#### 著作権を求めなかった ハーバート・テイラー

ハーバート・テイラーについて理解するために最も大切なことは、主にロータリーを通して、またラジオ放送や若者の組織でも「四つのテスト」を普及するために懸命に活動をした彼が、その著作権を求めるとはなかったということです。

テイラーは、このテストが祈りを通じて自分の元に届いたと信じていたほど信仰心のある人でした。彼は「神は私たちすべてのために計画をおもちだ」と述べ、そして、ロータリーとの関係も含め、自らの人生を成功へと導いてくれるアイデアを受け入れる意欲を信じていました。

ロータリーについて、彼は「友情をつくるもの、人と地域社会を築くもの、そして世界の人々との好意と友情を創るもの」であると考えていました。

テイラーとロータリーとのかかわりは、1920年代初め、オクラホマ州ポールスバレーロータリークラブ(RC)の創立を手伝ったことに始まります。フランスでYMCAのボランティアを

## 「自分の考えを述べる前や行動を起こす前にこのテストで自分の考え、言葉、行動を確認する人は、おおむね正しいことをしている人である」

し、その後、第一次世界大戦で海軍将校を務め、彼はグロリア・フォブリック夫人とともにシカゴから引っ越ししてきました。

彼は1893年に生まれ、上部半島にある人口300人の町、ミシガン州ピックフォードで育ちました。彼の父はその町の有力者で、銀行や材木会社や酪農場を営むかわら、電話と電気ของบริษัทも起こしていたために、テイラーは小さな町で恵まれた生活を送り充実した付き合いをしていました。

彼はまたノースウエスタン大学に通っていたころ、4つの仕事(タイプライターのセールス、年鑑に載せる広告の営業、電報会社の仕事、シカゴの新聞2紙へのスポーツ記事の執筆)で発揮したように、一生懸命に働く意欲をもっていました。彼は、正規の記者

が記事を出すより早く自分の記事を送るために、電報を使っていました。

オクラホマでは、保険を売り、採油権の仲介をしました。彼の記録的な営業成績の一つが生まれたのは、ある農家から採油権を購入しようと試みたときでした。その農家には、郡の保安官による離婚に関する書類が届けられたところでした。テイラーは、その農家の妻と子どもがいる近くの農場へ夫とともに出かけ、彼ら夫婦間の和解のアイデアを売り込むとともに、採油権契約の同意書に二人の署名を得ることができました。

オクラホマで5年間過ごし、テイラー一家は、グロリア夫人の故郷、シカゴに戻り、ジュエル・ティー社の役員に就任、地元のロータリークラブに入会しました。1928年には副社長となり、二人の娘、ビバリーとラモナの父親となっていました。

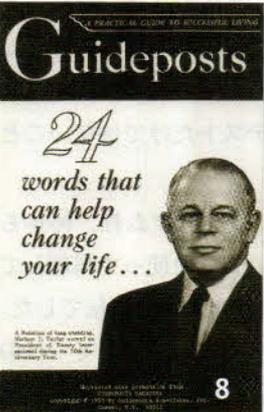
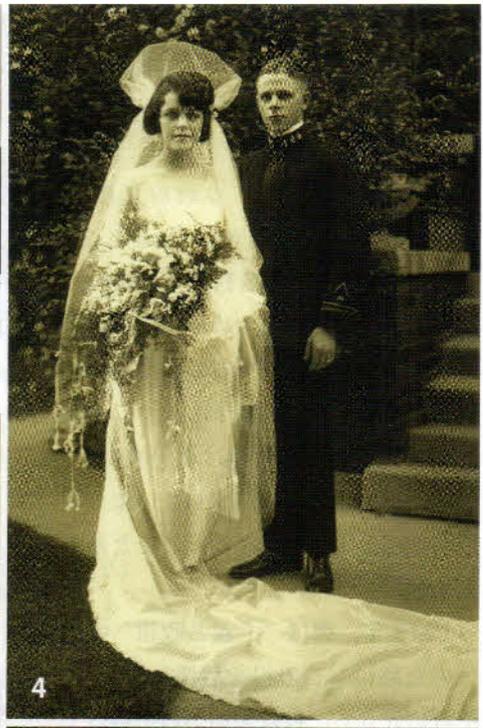
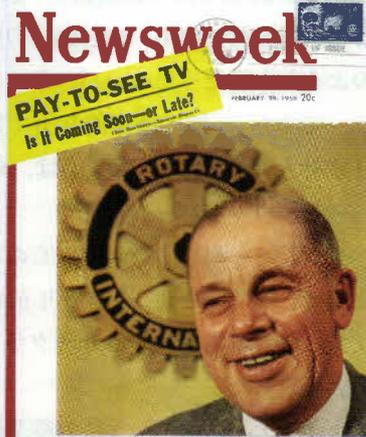
#### “公正な利益”とは――

1930年代の初めは、テイラーがクラブ・アルミニウム社を救うためにジュエル社での安定した職を辞したころ、彼とグロリアは、何百人という貧しい人々のためにパンとスープの配給を店先で始め、このことがChristian Workers Foundationの創立につながりました。

この団体は、若者のための組織で、彼は多くの時間をささげました。1939年、彼はシカゴRCの会長となり、その後、1945年にRIの副会長となるまでの間に、ガバナーと理事を務めました。

1941年、第二次世界大戦のために、政府は国内すべてのアルミニウム消費が削減したのに伴って、クラブ・アルミニウム社は、在庫を売るだけで、閉鎖も同然の状態になりました。

テイラーは、耐熱ガラスを使ったコ



ハーバート・テイラーの人生：1) 1916年ノースウエスタン大学生のころ 2) 娘ラモナとビバリーとともに 3) 1955年の『Newsweek』の表紙 4) 1919年6月グロリアと結婚 5) ロータリーの50周年記念で、娘たち夫婦 6) 四つのテストとともに 7) ハーバートの生誕の地ミシガン州ピックフォードにて 8) 1955年『Guideposts』の表紙 9) グロリアとの金婚式で家族が集結

一ヒーメーカーという新製品に着手し、日本人の労働者を雇いましたが、このことによって、彼の国への忠誠心を疑問視する声が上がりました。

彼自身は、アメリカ政府に国の“dollar-a-year men”の一人として、年俸1ドルという名目上の報酬で、国の経済支援をするために政府で働くことになり、彼は陸軍省の価格調整委員会の副委員長となりました。この委員会は、実質的な権限はないものの、政府に不当な価格を請求しないよう製造会社の愛国心に訴えかけることができました。

1943年、彼は“主義と政策”の違いのために、この役を辞任しました。それに先立ち、彼は製造業者に向けて演説をしました。その中で彼は、「自分たちの委員会は約28億ドルの過度の利益を見つけ出した」と述べました。テイラーは「“公正な利益”とは、契約者が自分の工場を離れて軍隊にいる人たちに喜んで知らせたくくなるような利益のことである」と聴衆に話しました。このころから、テイラーは製造業者に倫理について話をするようになりました。

あるR I理事会のメンバーが、高い倫理基準を推進するために「四つのテスト」をロータリーが使うことの許可を求め、受け入れられました。それが、テイラーが自伝の中で書いている“本当の始まり”でした。

1954年、彼がR I会長になり、この24の単語からなる「四つのテスト」の著作を公式にロータリーに贈呈。このテストはそのときすでに世界中に広まっていました。

ロータリーの50周年記念の際、好意と友情を深めるためにこのテストはテイラーとともに38か国を回り、『Newsweek』から大絶賛を受けました。同誌は「政府や教会でも果たせな

かった民族、宗教、言語の壁を崩した」とロータリーに敬意を表しました。

### 自己修練の模範

酒を遠ざけ、自宅にいてもスーツとネクタイを着用し、「山上の垂訓（キリストが群衆に行った説教）」を暗記して毎日それを暗唱、自己修練の模範のような人物だったハーバート・テイラーですが、「彼は威圧的な男ではありませんでした」と話すのは、G.ロバート・ロックハート氏です。ニューハンプシャー州ウルフボロRCの現役会員で、現在82歳。約60年前に義父から誘われて、ロータリークラブに入会しました。

ロックハート氏は、「私の職業的な望みについて、彼は大きなことを要求しませんでした。彼はとても親しみやすく、誰に対してもそうでした。私は彼のことが大好きでした。あんなにすばらしい義父はいません」と、テイラーの娘、ラモナとの結婚の意思を告げたときのことを振り返ります。

「父は、常に楽観的でした」とラモナは話します。「何事についても悲観的だった父を覚えていません。父は声を荒げるようなことは決してしませんでしたし、優しい気持ちの持ち主でした」

彼はブルセラ症（波状熱）による慢性的な頭痛がありましたが、そのことについて愚痴をいうことはほとんどありませんでした。亡くなる3年前の1975年に脳卒中で話すことができなくなっても、「彼は陽気でいた」と彼女は話します。

亡くなるまでの3年間、彼は妻に介護され、妻は100歳まで生きました。二人のロータリーでの絶頂期には、グロリアは愛情を込めて「ハープを身にまとった宝石」として知られていました。1999年、自分の誕生会で、彼

女はポール・ハリス・フェローの認証を受けました。

ラモナと妹のビバリーは、「四つのテスト」について、いつも聞かされていました。「父は事有るごとに、四つのテストについて話していました。私たちが何かしなくてはいけないことがあると父が私たちに言うときには“みんなに公平か”と父に聞いたものでした。私たちはいつもそうやって父をからかっていました」

ラモナの甥のアレン・マチス3世は、テイラーがいたイリノイ州パークリッジの近くに暮らし、多くの時間を祖父と過ごしました。「祖父の口調は穏やかで、もの静かな人でした。私にとって、祖父は、親分的な人ではありませんでした。祖父はとても控えめでした。祖父の業績を知ったとき、私は驚きました」

現在はアラバマ州に住み、シラコーガRCの会員であるマチス氏は、自らの人生にテイラーから多大な影響を受けたと考え、「四つのテスト」について講演しています。彼の妹であり、元ロータリアンのキャリル・キュージック氏と一緒に、マチス氏は、フロリダで祖父が1959年に創立した非営利組織「四つのテストアソシエーション」を運営しています。

約80年前に創案されたこのテストを保存し、広めるためにロータリーとともに活動する一方で、ラモナは、父の遺産はそのテストだけではないことを指摘します。

「クラブ・アルミニウム社。何年もたった今もこの製品を使って料理しています。一生使えるという宣伝でした。それは、私たちにとってうってつけのものなのです」

ポール・エンゲルマン シカゴを拠点とするフリーランライター

## 試してみよう、いち、に、さん

四つのテストを実践するビジネスリーダーに敬意を払って

四つのテストの教えを無視した事業は、ほとんど評価を受けることがありません。勘定をごまかしたり、あやしいポンジー（ねずみ講）を立ち上げたり、税金をごまかしたりしては、トップニュースになります。しかし、四つのテストに従い、平穩に誠実で公平で好意にあふれた毎日を実行している企業はどうでしょうか。

ロータリーの地区やクラブが、あるときには地元の学校やほかの組織とも協力して、職業、地域社会を通じて高い倫理基準を順守する職業人に倫理賞といったものを贈ることが倫理を向上させるための助けになるかもしれません。それによって、倫理の行動のためのロータリーのリトマス試験に光が当たります。

9年間、合同で賞を授与してきたアメリカ・フロリダ州タラハシーのロータリークラブは、2009年、急速に関心が高まるのを目の当たりにしました。

ロータリアンや地元の人から15人もの経営者が推薦されたのです。「道徳的でないビジネスが広まるようになると、人々は何か前向きなことを求めます。正しいことを行って、同時に成功しているビジネスがあるということを知りたがるのです」と話すのは、タ

ラハシーRCの会員で同クラブとそのほか7クラブからなる職業における倫理賞委員会の共同委員長であるマイケル・フォルストヘーフェル氏です。

タラハシー賞推薦書式の主な基準は、会社の出資者の満足度を高め、雇用、機会、利益を増やす一方で「誠実さ、高潔さ、雇用者、契約者、顧客に対して矛盾がないこと、など高い倫理基準の順守」です。候補者はまた、地域社会にも貢献し、ビジネスリーダーや革新者として奉仕し、四つのテストを守らなくてはなりません。

「四つのテスト」を用いて成功しているビジネスを見たら、自らのビジネスのやり方を見て、問うでしょう。「そのようになるために、自分が今よりもできることは何だろう」とフォルストヘーフェル氏は言います。

2009年は建設会社のCEO（最高経営責任者）であるビル・ラザフォード氏が受賞しました。

フロリダ州立経営大学の学生らが候補者たちを調査し、ロータリアンが審査員を務めました。タラハシーシビックセンターで開かれた授賞式では、元上院議員のボブ・グラハム氏や、元フロリダ州知事のボブ・マルティネス氏が基調講演を行いました。2009年の候補

者の中には、横領を発見し、その処理をした会計士や、保険を支払うことができない患者に対して治療を行っている足の治療士がいました。

タラハシー・ノースサイドRCの会員で、ラザフォード氏を推薦したバド・カールソン氏は、ラザフォード氏が雇用者にいかに寛大に利益を与えたかを記しています。

「しかし、利益より雇用者の満足度のほうを彼はずっと気にしています。多くの場面で、彼は必要に応じて雇用者たちを個人的に助けてきました」。ラザフォード氏の奉仕の心は、アメリカ政府の建設管理委員会に奉仕することから、昨年、州の少年牧場にいる少年全員に新しいシャツを買ってあげることまで、深くそして広いものです。

しかし、そんな多忙の中、彼は最近、初めて会った一人の建築家志望の学生に1時間以上もの時間を使いました。「彼は、成功するためには建築だけではなく、生活に情熱と誠実さと美徳をもって取り組まなくてはならないと、その学生に力説しました。ラザフォード氏の言葉を、彼は一生忘れないことと思います」とカールソン氏は話します。

政治家に私たちは  
どの程度の倫理的行動を  
求めますか？  
私たちは純真に  
道徳面で彼らを  
崇拝していませんか？  
元連邦検察官で、  
ベストセラー作家が  
公職の不正について  
述べます。

## [ 誤った ] 行動

私が連邦検事補佐官に任命され、イリノイ州司法長官だったウィリアム・スコットの裁判に携わったのは、ロースクール（法学大学院）を修了してわずか1年半のときでした。現職のイリノイ州検事総長、ウィリアム・スコットは所得税の脱税で1979年に起訴されました。彼が、イリノイ州で最も人気がある政治家だったために、起訴に至るまでには、計り知れないほどの困難を伴いました。1978年の選挙では、ウィリアム・スコットは、大陪審（起訴するか否かを決める）の取り調べ中であることが知られていたにもかかわらず、65%の得票率で再任されました。

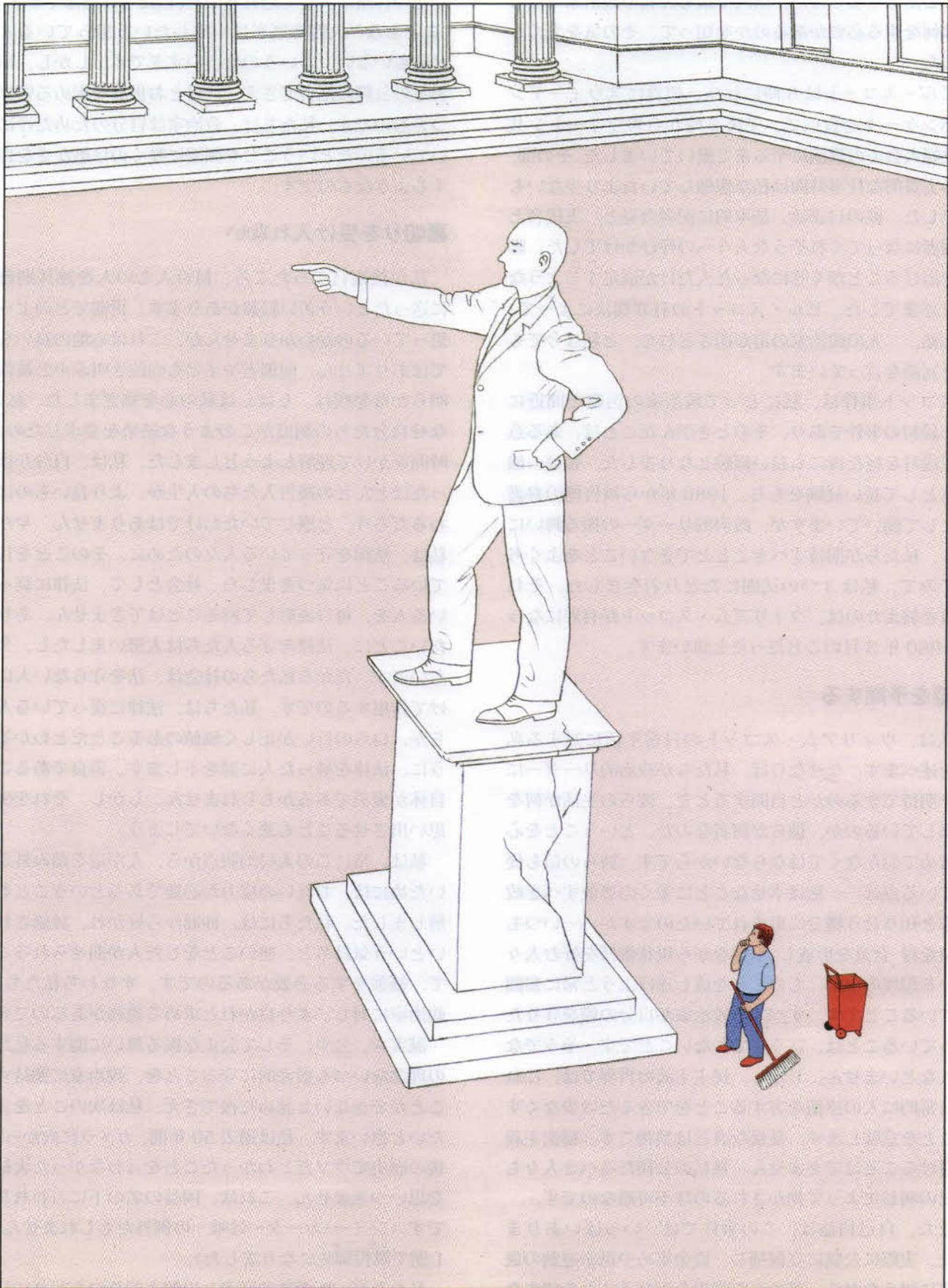
スコットに寄せられた支援は、さまざまな意味で当然のものでした。彼は、ほかの多くの政治家よりずっと前からメディア操作を知り尽くし、特に消費者の擁護者として、また環境保護者として業績がありました。しか

し、後の公判の証拠でわかったように、彼は悪者だったのです。

1967年、ウィリアム・スコットが当時の妻とともに貸金庫を借り、何千ドルもの現金を詰め込んでいました。スコットは、その金は政治献金で、妻と共有していないと主張。しかし、その後数年のスコットの暮らしぶりは、給料、預金、贈与などを上回るものでした。このことから、彼が政治献金だと主張した現金を、私的に使ったので所得税の対象になると推定されました。

スコットを有罪とするために、州政府は、スコットが離婚した1960年代の終わりから、彼が使った、あるいは受け取った金額を詳細に調べ上げることが求められました。検察官と私たちを支援するIRS（国税庁）の査察官にとって、それは、彼の日常を顕微鏡で見るように調べなくてはならないことを意味していました。多くの

スコット・トゥロー



若いロースクールの修了生と同様、私も政界入りを考えたことがありますが、州内で最も評判の政治家になるには何をする必要がありますのかを知って、その気を失くしました。

ビル・スコットは6時に起床。朝食にスウェーデン風パンケーキを食べて、午後8時からのウィートン共和党婦人会での講演に至るまで働いていました。その間、彼の実質的な仕事時間は私が想像していたより少ないものでした。彼の日課は、基本的に記者会見と、支援者と支援者になってくれそうな人々への呼びかけでした。脚光を浴びることがくせになった人だけが満足するような生きざまでした。ビル・スコットの有罪判決によって、彼と私、二人の政治家の道が閉ざされた、と私は今でも時々冗談を言っています。

スコット事件は、私にとって政治家の汚職を間近に見た最初の事件であり、そのとき学んだことは、ある意味で歳月を経た後にも良い経験となりました。私は、検察官として長い経験をもち、1986年から被告側の弁護士として働いていますが、政治的リーダーの振る舞いに対し、私たちが期待すべきこととできないことをよく考えてみて、私は3つの法則にたどり着きました。それを書き終えたのは、ウィリアム・スコットが有罪になった1980年3月のことだったと思います。

## 失望を予期する

私は、ウィリアム・スコットの日常生活に対する私見を述べます。なぜならば、私たちが政治的リーダーに何を期待できるのかと自問するとき、彼らの生活が何を要求しているのか、彼らは何者なのか、ということを中心に留めておかななくてはならないからです。彼らの最も優れている点は——私は幸せなことに多くの尊敬すべき政治家と知り合う機会に恵まれていたのですが——いつも支持を得、合意を形成し、当然ながら現状維持を好む人々もいる環境の中で、ものごとを成し遂げようと常に奮闘していることです。すべての政治家が自分の職を守りたがっていることは、言うまでもないことです。そうでない人などいません。しかし、民主主義の世界では、これは日常的に人の感情を害することをできるだけ少なくすることを意味します。乱暴な直言は禁物です。秘密主義を避けることはできません。無私の公僕たるべき人々も自己の利益によって動かされるのは不可避なのです。

また、自己利益は、この事件では、いっぱいありました。実際に公職に立候補し、資金集めや選挙運動の厳しさに耐えながら、華やかな脚光を浴びることを望まない人はいません。落選は、舞台の光が消えることを意味

しますが、そのような憂き目を見ることを、政治家たちがその性格からして恐れるのを、私たちは想像できます。“まともな”人間で選挙に出馬したいと思っている人など誰もいない、というのは言いすぎです。しかし、最も善意の公職候補者でさえ、注目とお世辞を求める性格がつきものです。私たちは、政治家は自分のためだけに動いているのだということを頻りに嘆くのは愚かさを自認するようなものです。

## 裏切りを受け入れない

私が検察官だったころ、何百人もの人を連邦刑務所に送ったという苦い経験があります。世間でどのように思っているのかわかりませんが、これは心地の良いものではありません。配偶者や子どもの泣き叫ぶ声と被告人明らかな愁嘆は、しばしば私の心を塞ぎました。私は、なぜ自分たちの制度がこのような結果を要求したのか、時間をかけて理解しようと思いました。私は、自分が扱ったほとんどの被告人たちの人生が、より良いものになるだろう、と感じていたわけではありません。やがて私は、法律を守っている人々のために、そのことを行っていることに気づきました。社会として、法律に従っている人を、毎日表彰して回ることはできません。ありがたいことに、法律を守る人たちは大勢いましたし、今でもいます。だから私たちの社会は、法を守らない人に向けて作用するのです。私たちは、法律に従っている人たちが、自らの行いが正しく価値のあることだとわかるように、法律を破った人に罰を下します。善良であること自体が褒美であるかもしれません。しかし、それを少し思い出させることも悪くないでしょう。

私は、常にこの大局的観点から、人が道を踏み外さないためには、お互いの協力が必要であるということを理解しました。私たちには、仲間から好かれ、評価されたいという気持ちと、悪いことをした人が罰せられることで、補強をする必要があるのです。すなわち私たちは、政治家に対し、より良かれと求める義務があるのです。

誠実さ、公平、そして公正な振る舞いに関する私たちの理念をいつも徹底的に守ることを、政治家に期待することができないと認めた後でさえ、私は次のことを言いたいと思います。私は過去50年間、カメラに向かって、後の歴史でウソだとわかったことを言わなかった大統領を思いつきません。これは、国益の名の下に言われたのです。(ジミー・カーターは唯一の例外かもしれませんが、1期で御役御免になりました)。

私たちが、医者や聖職者との個人的なつながりに望んでいるような公正さで民衆に接するよう、政治家に期待

することはできないということが、私たちが腐敗と欺瞞に対して見て見ぬふりをする必要性につながるものではありません。政治的多数派の気を引くために公約を破ったり、あるいは、大衆の利益にかかわる見解を変えることで、政治家は私たちを失望させるかもしれませんが、その人は民主主義の原則と代議政治の原則に対して忠実な人だとも言えます。金をもらって公約を破る政治家は、民主主義の理念を冒とくしています。そのような政治家は多数決や公益への奉仕を放棄し、一人の意思がほかのすべての人をしのぐのを許しました。もし私たちがこのような振る舞いを許すとしたら、民主主義は滅ぶでしょう。

私たちは権力の誘惑に負ける公務員に、自分たちの無念さを表しえない部外者ではありません。ビル・クリントン、エリオット・スピッツァ、事務手伝いの少年を口説いたフロリダ州選出の下院議員マーク・フォーリーなど、相次ぐ政府高官の性的スキャンダルは公の立場とは無関係の全くの個人的な行動として、簡単に片付けるべきではありません。

倫理的な問題として、これらの人たちは、私たちが与えた権力の魅力と特権を、私たちが許さない私的な目的に流用していました。このような不祥事は贈賄や親族の登用とは異なり、私たちの統治システムを危険にさらすことはないのです。こういった行動によって必ずしも自動的に公職を失なわせるほどではありません。しかし、私たちがこれらの人々投げつけた軽蔑は、単にどぎつい道徳論だけではありません。私たちはみな、これらのリーダーたちが信頼を裏切ったことに対して失望する権利をもち、ケースバイケースで公職にとどまるだけの民衆の信用に値するのかどうかの判断を下す権利をもっています。

イリノイ州のように、前の知事が刑務所にいて、その後任者は起訴中で公判を待っている最中というような事件がよく起こる一つの理由は、イリノイの有権者たちが憤慨している一方で、よくあることだと受け入れてしまうことが挙げられます。

私たちがこのような状況を受け入れるのではなく、目を光らせ不満を述べるのが、私たちに課せられた市民としての最高の責務です。さらに、単に汚職がないというだけではなく、透明で信用されている政府であり、そして、リーダーは個人的な振る舞いにおいても、私たちが貸し与えた権力と地位を濫用することなく、私たちをより良くする責務を負っていること、そして、その義務を彼らが果たさないなら、ほかの仕事を探すべきであるということを知らしめねばなりません。

## 法律に忠実であり、継続的な改革を要求する

ここで最も皮肉な議論の一つは、法律では信念を変えることができないという説です。私が13歳のとき、公共の場での差別を禁止するために議会に提出された公民権条例に対し、反対派は人々の心の中を変えることはできないと言っていたのを耳にしたものです。彼らは正しかったのです。その公民権条例が議会で通過しても、当初は誰も自分の意見を変えませんでした。

しかし、変化はレストランやホテル、スタジアムや公共のプールで起こりました。長年あった壁が崩れ、すべての人が基本的に平等であるという見解が補強された社会で、それは十分に発達し、多くの人の気持ちに変化をもたらしました。1964年の公民権法はアメリカを変えました。

同じことが政府の倫理にも当てはまります。詐欺師は詐欺師であり常に法律の抜け道を探しているというのは、都合がいいことです。私は、アメリカ連邦地検を辞めた後、刑事弁護士として数年を過ごし、多くの人は生まれつきの悪人ではないということがわかりました。彼らはただ、自分たちがあまり期待されることがなく、ルールもあいまいな環境で育っただけなのです。

法の整備が有効です。ウィリアム・スコットの現金が詰まった貸金庫があったにもかかわらず、イリノイ州は選挙資金調達に関する法の整備がお粗末でした。前知事のロッド・ブラゴイエビッチに関して、最も首を傾げなくなる訴因の一つは、小児病院の理事長から5万ドルの政治献金を受け取るまで、その病院に対し州の償還金の支払いを遅らせたことで告発されたことです。その嫌疑が真実ならば、州の有権者全員も、ある程度、過失があると認識しなければなりません。前知事のゆすりの企図を許した主な理由は、これほどの額の違法献金に関して、イリノイ州がまだほかの州や合衆国政府における圧倒的な動向に倣っていないこと、つまり、イリノイの有権者が献金額に制限を設けることを拒否してきた議員たちを放り出さなかったからなのです。この場合、法律は誤った行動に関する明確な線引きを拒み、その結果、イリノイ州は全国に恥をさらすことになりました。

最後に、私の3つの法則は、民主主義の世界において、生活と性格から自己益に引きずられやすい政治家だけでなく、政治家の奉仕の対象である有権者や市民にも負担を課します。民主主義が私たちすべてのために機能してほしいと望むなら、私たちは民主主義の勤勉な管理者であり、支配者であるよう、絶えず努力する必要があるのです。



## 自社の特性を生かして社会貢献 — 牟禮印刷株式会社

企業の社会的貢献についてご紹介します。第2670地区の高松南ロータリークラブ（香川県）の会員、牟禮昌忠さんが代表取締役を務める牟禮印刷株式会社では、残紙を利用して、ラオスの子どもたちにノートを贈っています。

輪転印刷機では、巻き取り紙を使用して印刷をしています。その芯に近い部分は印刷に使用できないため、「残紙」という形で残り、それを廃棄処分していました。1994年、同社の創業70周年事業として、何か地球環境に貢献できることはないかと、従業員たちがアイデアを出し合い、その結果、それまで廃棄処分していた「残紙」を利用してノートを作り、発展途上国の中でも最も

学用品が不足している国の子どもたちに贈ろう、ということになりました。

シャンティ国際ボランティア協会に相談し、送り先がラオスに決まりました。ラオスの、特に地方では教科書も十分になく、教師が1冊の教科書を頼りに授業を進め、子どもたちに教科書がいき渡っていないことも少なくありません。ノートを手でできる子どもも限られています。子どもたちにノートを贈ることは、希望を贈ることにもなります。

ノートは80ページ。ラオスから見本のノートを取り寄せ、それと同じ罫線で印刷をしています。表紙にはラオスの地図、ラオス語のアルファベット、掛け算の早見表などを印刷して製本し、1回に2万冊を製作。印刷時に少しだけ出る残紙を利用するために、毎年というわけにはいきませんが、今年の2月に贈ったノートで、6回目の寄贈となりました。

近年では多くの企業が社会貢献に力を入れています。その活動はさまざまです。しかし、同社が目指した活動は、印刷という、自社で扱う製品や技術を生かした活動として、きめ細やかな工夫がみられます。印刷時に少しずつ排出される、これまでは捨てていたが捨てるにはもったいない残紙を利用した点では、昨今話題の地球環境保全にも結びつきます。ちなみに、同社の企業理念には「環境方針」が掲げられ、ISO14001に準拠した、自然と共生し地域に貢献する企業活動を展開しています。

